

## 編集後記

本号も多くの投稿をいただき、充実した内容となった。

生涯教育講座は2つの論文を掲載した。「機械学習による退院時要約からDPC分類の推測」では、先端的な研究結果を提示いただいた。テキストマイニングの技術はレジストリー研究の記述データの解析にも応用されるのではないかと期待される。「がん性痛のマネジメント」ではがんの疼痛コントロールの重要性からオピオイド、鎮痛補助薬の詳細な使い方まで説明されており、日常診療での手引きになると考える。

多数例研究では3論文を掲載した。「コロナ禍の当院てんかん外来診療119例の検討」においては、コロナ感染状況の中で電話診療、脳波検査過呼吸賦活の自粛、減薬の延期などがあったが、対面診察の需要が高く、感染状況中でもきめ細かい対応をされたことが手にとるようにわかる貴重な報告である。「島根県西部における松ヶ丘病院のギャンブル等依存症対策」では、島根県心と体の相談センターが開発した認知行動療法の回復プログラム (SAT-G) によって、ギャンブル依存の方が多く回復の道につくことができているとの報告がされた。なお、SAT-Gは全国的にも評価が高く、「SAT-G活用ガイドブック」(中央法規)の成書となっている。「簡易に行える膀胱内圧検査法」では、排尿障害に対するチーム管理に有用な方法を提示し、臨床での活用法と注意点が示されている。

症例報告3論文は、それぞれ貴重な報告であり、それぞれの分野の専門ではない先生方にもぜひ一読をしていただきたい内容となっている。

新型コロナ・オミクロン株感染拡大が続く中での編集作業であるが、本号がお手元に届く頃には感染者数が減っていることを願うばかりである。 (S.H)

### 島根医学編集委員

浅野博雄, 貴谷 光, 児玉和夫, 大居慎治, 齋藤寛治,  
細田眞司, 小阪真二, 田邊一明, 佐藤比登美, 小林祥泰,  
椎名浩昭, 井岸 正

島根医学

令和4年8月31日発行

発行者 島根県医師会  
松江末次町  
編集 編集者 浅野博雄  
発行所 松江市学園南2丁目3番11号  
有限会社 松陽印刷所